

Questions and answers

Table of contents

| | |
|---|---|
| Softimage 開発終了に関する概要 | 2 |
| 移行パス – 概要 | 3 |
| 1. 何が Softimage に起ころうとしていますか？ | 4 |
| 2. オートデスクはいつまで、Softimage のサポートの提供を継続しますか？ | 4 |
| 3. サービスパックはどうなりますか？ | 4 |
| 4. オートデスクはなぜ Softimage の新たなリリースを中止するのですか？ | 4 |
| 5. Subscription 契約しているお客様がいます。契約者向けの移行パスはありますか？ | 4 |
| 6. 移行しなければいけませんか？ | 4 |
| 7. Softimage を新たに購入することはできますか？ | 5 |
| 8. Subscription を契約／更新しませんでした。Maya または 3ds Max へ移行できますか？ | 5 |
| 9. 旧バージョンの Softimage を使用しています。Maya または 3ds Max へ移行できますか？ | 6 |
| 10. 旧バージョンの Softimage を使う必要があります。どうすれば良いですか？ | 6 |
| 11. 移行する場合、Softimage へのアクセスはどうなりますか？ | 7 |
| 12. 移行する場合、Maya または 3ds Max の旧バージョンにアクセスできますか？ | 7 |
| 13. Autodesk Entertainment Creation Suites はどのように変わりますか？ | 7 |
| 14. Entertainment Creation Suite Premium ユーザはどうなりますか？ | 8 |
| 15. ECS Premium の Subscription 契約者への ECS Ultimate 自動配布で、支払いは発生しますか？ | 8 |
| 16. Entertainment Creation Suite Ultimate はどうなりますか？ | 8 |
| 17. Softimage Entertainment Creation Suite (日本のみ) はどうなりますか？ | 8 |
| 18. このプログラムについて質問がある場合は、どこに問い合わせれば良いですか？ | 8 |

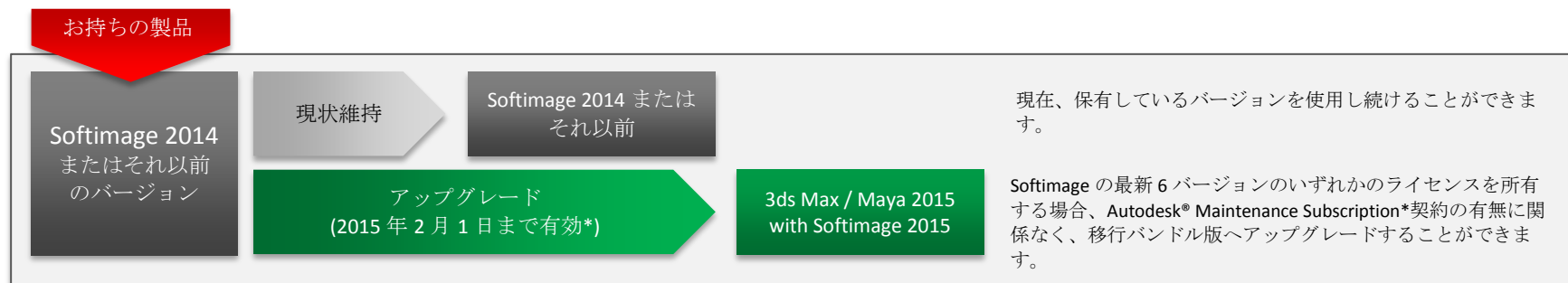
この最新版 FAQ は、お客様およびユーザ様からのフィードバックに応じて変更したプログラムの内容を反映し、更新されたものです。(2014年5月20日更新)

Softimage 開発終了に関する概要

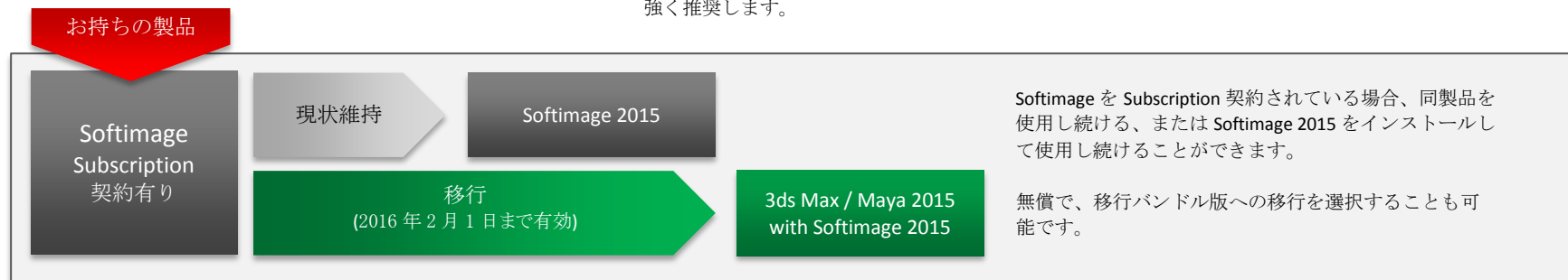
- 2014年4月14日に出荷を開始する Autodesk® Softimage® 2015 は、Softimage の最終リリースです。
- オートデスクは、2016年4月30日まで、Autodesk® Subscription 契約の有無を問わず、全ての Softimage ユーザ様に対し、ホットフィックスおよびサービスパックを提供していきます。
- オートデスクは、Autodesk® Subscription 契約している Softimage ユーザ様に対し、2016年4月30日までサポートを提供します。
- 2016年4月30日以降は必要に応じて、新しいマシンにライセンスを移動することができます。
- Softimage のライセンスは全て、2016年4月30日以降も引き続き有効です。
- オートデスクは、Softimage Subscription 契約ユーザ様に対し、Autodesk® 3ds Max®または Autodesk® Maya®のいずれかを含む移行のためのオプションを無償提供します。移行用オプションは、2016年2月1日までの提供を予定しています。
- 移行オプションを選択し、Subscription 契約を継続しているお客様は、2016年4月30日以降も、Subscription センターを通じて、Softimage に加えて、3ds Max または Maya（移行時に選択するソフトウェア）の旧バージョン（最大3バージョン前まで）へもアクセスすることができます。
- 移行期間中に 3ds Max または Maya へ移行するユーザ様には、Softimage と 3ds Max または Maya を同時に使用できる Suite ライセンスが発行されます。これらは、永久ライセンスです。
- 2016年2月1日を以て、移行用オプションの提供は終了します。同期日以降、Subscription ユーザ様は、その後のアップグレード時に Maya または 3ds Max の新しいライセンスのみを受け取ることになります。しかしながら、Subscription 契約ユーザ様は、Subscription センターを通じて、引き続き Softimage ソフトウェアへアクセスし、ライセンスを受けることができます。
- Autodesk Entertainment Creation Suite (ECS) Premium は販売終了となります。ECS Premium の Subscription 契約ユーザ様には Autodesk ECS Ultimate を無償で配布します。
- 移行を希望されるお客様は、お近くのオートデスク認定販売パートナーへご連絡の上、ご注文ください。移行オプションを適切に処理するには、注文書が必要となります。注文書には、Maya with Softimage または 3ds Max with Softimage のいずれかの移行用 SKU が含まれていなくてはなりません。

ご質問またはお問い合わせは、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスク営業担当までご連絡ください。

移行パス – 概要



* 2015年2月1日以降、オートデスクは、ソフトウェアのアップグレードの提供を行いません。常に 3ds Max または Maya の最新版を利用したいと希望される場合は、Autodesk Maintenance Subscription の購入を強く推奨します。



1. 何がSoftimageに起ころうとしていますか？

Autodesk Softimage 2015 は、Softimage の最後のリリースです。2014 年 3 月 28 日以降、お客様は、新しい移行オプションのバンドルとしての購入は可能ですが、Softimage のスタンドアロン・ライセンスを新規に購入することはできません。（詳細は質問 7 をご覧ください。）現在、Autodesk Subscription 契約をされている Softimage ユーザ様には、Autodesk Maya または Autodesk 3ds Max のいずれかが含まれる移行用オプションを無償で提供します。（詳細は質問 5 をご覧ください。）

2. オートデスクはいつまで、Softimageのサポートの提供を継続しますか？

有効な Autodesk Subscription 契約をお持ちのお客様には、2016 年 4 月 30 日または既存契約の有効期限まで、サポートおよびメンテナンスサービスの提供を継続する予定です。お客様は Subscription 契約を更新して、2016 年 4 月 30 日までサポートを受けることができます。

3. サービスパックはどうなりますか？

進行中のメンテナンス開発（ホットフィックスおよびサービスパック）は、サポート期間の 2 年間（2016 年 4 月 30 日まで）、全ユーザ様に対して提供を継続します。全てのユーザ様が、ご使用のソフトウェア・バージョンに対応するホットフィックスやサービスパックを利用することができます。しかしながら、追加のカスタマー・サポート・サービスを受けるには、別途、Autodesk Subscription 契約の購入が必要です。

4. オートデスクはなぜ Softimageの新たなリリースを中止するのですか？

ビジュアルエフェクトおよびゲーム業界における激動と変遷のただ中で、業界の急激な変化に遅れを取ることなく、お客様へより良い製品とサービスを提供するためには、この決断が不可欠であると判断しました。お客様の新規かつ既存ワークフローを支えるために必要な機能や機能性の開発にバランスよく投資しながら、イノベーションを加速しなくてはなりません。これは、決して安易に決めたことではありません。方針決定の過程では、Softimage ユーザ様への影響を含め、様々な要素を考慮しました。非常に難しい決定でしたが、この決定により、私たちは業界のニーズにより良く貢献し、お客様にはより良い製品の選択肢を提供できると信じています。

5. Subscription契約しているお客様がいます。契約者向けの移行パスはありますか？

はい、有効な Softimage Subscription 契約をお持ちのユーザ様は、最新版の Maya または 3ds Max へ無償で移行することができます。お客様が移行期間中も Softimage を継続して使用できるように、期間限定（移行期間*）で 2 種類の特別提供プランをご用意しました：

- *Maya with Softimage* : Autodesk Maya 2015 と Autodesk Softimage 2015 が含まれます
- *3ds Max with Softimage* : Autodesk 3ds Max 2015 と Autodesk Softimage 2015 が含まれます

このプランにより、Maya または 3ds Max を学びながら、Softimage を用いて制作することができます。Subscription 契約をされていない場合、移行オプションのご利用には、アップグレードを購入する必要があります。（質問 8 および 9 をご参照ください。）

*移行期間は、2016 年 2 月 1 日までの約 2 年間で予定しています。

（オートデスクは、事前通達することなく、いつでもこの日程を変更する権利を留保します。）

6. 移行しなければいけませんか？

移行は必須ではありません。Softimage 2015 またはそれ以前のバージョンをお持ちの Softimage ユーザ様（Subscription 契約は不問）は、永久にご使用の Softimage に留まることも可能です。

2016 年 4 月 30 日以降もライセンスは引き続き有効です。新しいマシンにライセンスを移動する必要がある場合は、オートデスクのサポートサービスを通じてライセンスを移動することができます。但し、2016 年 4 月 30 日以降、オートデスクでは新しいハードウェア構成やオペレーティング・システムのアップデートに対する検査、検証を行いませんので、ご留意ください。

Subscription 契約をお持ちのお客様は、2 年間の移行期間中いつでも好きな時に、*Maya with Softimage* または *3ds Max with Softimage* へ移行することができます。

7. Softimageを新たに購入することはできますか？

はい、ユーザー様は、*Maya with Softimage* または *3ds Max with Softimage* いずれかの移行オプションを購入すれば、Softimage 2015 を新規または追加購入することができます。

これらの移行オプションは、約2年の移行期間中（質問5を参照）、510,000円（税別、希望小売価格）で購入可能です。また、3ヶ月間または1年間の Desktop Subscription プランもご利用可能です。Autodesk e-store では、上記プランのお取り扱いがありません。

2年の移行期間の終了後、Softimage の新規ライセンスをオートデスクから購入または借用することができなくなります。しかしながら、購入済みのライセンスは、引き続きご使用いただけます。

8. Subscriptionを契約／更新しませんでした。Mayaまたは3ds Maxへ移行できますか？

過去364日間に Subscription 契約を更新しなかった場合、Subscription を再契約することで、移行オプションを利用することができます。

注意：この契約の有効期間は、前 Subscription 契約の失効日を起算日とする365日間です。契約失効日より30日以上経過した契約を更新する場合、再契約手数料が追加発生します。

最新版を持ち、Subscription 契約された場合、質問5にある通り、Maya または 3ds Max への移行オプションをご利用いただけます。前 Subscription 契約の失効日から365日以上が経過している場合は、アップグレードの購入が必要です。（質問9を参照）

*記載の希望小売価格 (SRP) は、アメリカ国内の製品およびサービス販売を対象とする Autodesk の希望小売価格です。SRP には、設置料及び税金は含まれていません。SRP は、参考のために表示しています。実際の小売価格は、各販売店が決定します。その他の条件が適用される場合があります。Autodesk は、SRP、製品の提供、製品およびサービスの仕様を、通知することなく、いつでも変更する権利を留保します。また、本サイトにおける誤字、図的、その他の誤りについて、一切の責任を負いません。

9. 旧バージョンのSoftimageを使用しています。Mayaまたは3ds Maxへ移行できますか？

はい、最後に購入されたライセンス/アップグレードが何バージョン前のものであるかにより異なりますが、可能です。

- (1) 6バージョン前まで：**3ds Max with Softimage** または **Maya with Softimage** 移行オプションのいずれかへのアップグレードを購入することができます。このパスには特別なSKUが作られています。オートデスクでは、時々、旧バージョンを使用するユーザーを対象とする様々なアップグレード・プロモーションを提供しますので、ご注意ください。利用可能なプロモーションについては、お近くのオートデスク認定販売パートナーまでご確認ください。
- (2) 6バージョンより前：アップグレードのオプションはありません。しかしながら、ご希望に応じて、**3ds Max with Softimage** または **Maya with Softimage** いずれかの新規ライセンスを購入することができます。

2015年2月1日以降、オートデスクは、全ての製品においてアップグレードの販売を終了します。ご注意ください。

また、**3ds Max with Softimage** または **Maya with Softimage** 移行オプションの提供は、2016年2月1日までとなりますので、ご注意ください。

10. 旧バージョンのSoftimageを使う必要があります。どうすれば良いですか？

ユーザー様が **Softimage 2015** へのアップグレードを了承した場合、**Subscription** 契約の特典により、最後のソフトウェアリリースから最大3バージョン前までの旧バージョンへのアクセスを提供します。**Softimage 2015** へアップグレードされた **Subscription** 契約ユーザー様は、**Softimage 2014**、**Softimage 2013** および **Softimage 2012** へアクセスし、使用することができます。これは、**3ds Max with Softimage** または **Maya with Softimage** への移行とは無関係に、有効な **Subscription** 契約をお持ちの方全てに適用されます。旧バージョンのライセンスは、**Subscription** の期間中有効ですが、一度に使用できるのは1バージョンに限られます。（複数バージョンを同時使用することはできません。）

Autodesk 使用許諾およびサービス契約、および **Autodesk Subscription** 契約の条件により、**Subscription** 契約のないユーザー様は、新しいソフトウェアへのアップグレードライセンスをアクティベーションする時に、それまで使用していたバージョンの使用を停止しなければなりません。それゆえ、**Subscription** 契約がない限り、**Softimage 2015** のアップグレードライセンスをアクティベーションすると、使用している旧バージョンを使用する権利が失われます。**Subscription** 契約ユーザー様は、上述の通り、旧バージョンを引き続き使用する権利を留保し、**Autodesk Subscription** センターからソフトウェアをダウンロードして、使用許諾を受けることができます。

オートデスクは、ユーザー様が以前の購入やアップグレードにより当該バージョンの権利を有し、当該バージョンのリリース以降、有効な **Subscription** 契約を維持している場合に限り、例外的に、旧バージョンへのアクセスのリクエストを個別に判断する場合があります。この件に関するお問い合わせは、お近くのオートデスク認定販売パートナーまでご連絡ください。

要約：

1. Autodesk 使用許諾およびサービス契約では、アップグレードを受領した場合、ユーザー様は120日以内に、前バージョンの使用を停止しなければならないと明記されています。アップグレードしない場合、ユーザー様は購入したライセンスを永遠に使用し続けることができます。
2. 加えて、**Subscription** 契約されているユーザー様は、**Subscription** の特典として、前バージョン使用可能製品一覧に記載された製品について、購入した以前のバージョン（最大3バージョン前まで）を継続して使用することができます。**Subscription** 契約が失効すると、この権利も消失します。
3. 3バージョンよりも古いバージョンの場合、ユーザー様の購入履歴のあるバージョンであれば、例外的に使用を許可する場合があります。

11. 移行する場合、Softimageへのアクセスはどうなりますか？

Maya または 3ds Max 移行オプションを選択する場合、移行期間終了後、移行オプションによるライセンスは、新たに発行される Maya または 3ds Max のライセンスへ替えるという問題があります。現時点において、Softimage へのアクセスを継続する唯一の手段は、Subscription センターを介する方法です。

移行におけるライセンスの問題を分かりやすくするため、簡単に要約します：

(1) 移行しない場合

アクティベーションした現行ライセンスを永久的に使用し続けることができます。また、システムが故障した場合などには、サポート経由で、新しいコンピュータへライセンスを転送することができます。有効な Subscription 契約を持つ場合は、最大 3 バージョン前までの旧バージョンにアクセス可能です。オートデスクでは、2016 年 4 月 30 日まで、サポート・サービスを伴う Subscription を提供します。

(2) Maya with Softimage または 3ds Max with Softimage バンドルへ移行する場合

現行の Softimage ライセンスに替る“バンドル”ライセンスが新たに発行されます。バンドル・ライセンスは両製品 (Maya と Softimage または 3ds Max と Softimage) をアクティベートし、Autodesk Suite ライセンス同様、両製品の同時使用を可能にします。バンドル・ライセンスは、永久ライセンスであり、永久に使い続けることができます。Subscription 契約されている場合、2 年間の移行期間中に Maya または 3ds Max にアップグレード (ソフトウェアのバージョンアップまたはエクステンション) があると、それらのアップグレードを受け取り、アクティベートするか否かを定めることができます。アップグレードすることを選ぶ場合、それまでのライセンスの替りになる新しいバンドル・ライセンスを受け取ることになります。新しいライセンスも永久ライセンスであり、両方のアプリケーションを永久に使い続ける権利を供与します。いかなる理由であれ、アップグレードしないことを選ぶ、または、Maya または 3ds Max への投資継続を望まない場合は、現行の Maya with Softimage または 3ds Max with Softimage バンドル・ライセンスを永久に使い続けることができます。

(3) 2 年後、Maya または 3ds Max スタンドアロン版へ完全移行するか否かを選択することができます。

2 年間の移行期間終了時に、Maya または 3ds Max へ完全移行するか否かを定めることになります。2016 年 2 月 1 日以降、Maya または 3ds Max (移行時の選択による) の新たなバージョンは、Maya のみ、または、Max のみのライセンスとして発行されます。アップグレードする場合は、バンドル・ライセンスからこれらの単独ライセンスに差替えられます。これは、2016 年 2 月 1 日以降、オートデスクが、Maya with Softimage および 3ds Max with Softimage の開発、テスト、および 2 本立てソフトウェアのリリースを行わないためです。2016 年 2 月 1 日以降、3ds Max または Maya の新しいライセンスをアクティベートしない限り (つまり、完全移行しない限り)、お客様はバンドル・ライセンスを使用し続けることができます。しかしながら、3ds Max または Maya への完全移行を選んだ場合でも、Subscription の特典の 1 つとして、Softimage 2015、2014、2013 および 2012 へアクセスすることができます。また、発行されるライセンスは永久ライセンスです。

オートデスクでは、本オプションにより、移行について多くの柔軟性を提供できると信じていますが、状況は個々に違うことも理解し、移行がお客様にとって効果的なソリューションとなるよう、引き続きお客様への支援に取り組んでまいります。現在、または将来的な懸念などがございましたら、お近くのオートデスク認定販売パートナーまでお気軽にご相談ください。

12. 移行する場合、Maya または 3ds Max の旧バージョンにアクセスできますか？

はい、Maya with Softimage バンドルへ移行し、Subscription 契約された場合、Softimage の旧バージョンに加えて、Maya の旧バージョンも利用できます。3ds Max with Softimage バンドルへ移行し、Subscription 契約された場合は、Softimage の旧バージョンに加えて、3ds Max の旧バージョンも利用できます。共に最大 3 バージョン前までアクセス可能です。

13. Autodesk Entertainment Creation Suites はどのように変わりますか？

2014 年 3 月 28 日を以って、オートデスクは Entertainment Creation Suites (以下 ECS と表記) の内容を以下のように変更しました：

- Autodesk Maya ECS Standard – 変更無し
- Autodesk 3ds Max ECS Standard – 変更無し
- Autodesk Softimage ECS Standard (日本国内での限定販売) – 2015 は Subscription ユーザ向けに配布される最後のリリースです。
- Autodesk 3ds Max ECS Premium – Autodesk ECS Ultimate に変更されました。
- Autodesk Maya ECS Premium – Autodesk ECS Ultimate に変更されました。
- Autodesk ECS Ultimate の価格を引き下げました。

14. Entertainment Creation Suite Premiumユーザーはどうなりますか？

Autodesk Maya Entertainment Creation Suite Premium 2014 および Autodesk 3ds Max Entertainment Creation Suite Premium 2014 は、ECS Premium の最終リリースになります。ECS Premium の Subscription 契約ユーザーには、自動的に Autodesk Entertainment Creation Suite Ultimate 2015 が配布されます。Subscription を契約されていないお客様は、アップグレードすることができます。

15. ECS PremiumのSubscription契約者へのECS Ultimate自動配布で、支払いは発生しますか？

支払いは発生しません。ただし、Subscription 価格は変更がありますので、更新の新しい価格に関する詳細は、オートデスク認定販売パートナーに御確認ください。

16. Entertainment Creation Suite Ultimateはどうなりますか？

今後2年間、Autodesk Entertainment Creation Suite Ultimate (ECS Ultimate) の構成内容に変更はありません：Softimage 2015 および最新バージョンの 3ds Max、Maya、Autodesk® MotionBuilder®、Autodesk® Mudbox®。ECS Ultimate の価格は、ECS Premium の前価格と同じ 950,000 円（税別、希望小売価格）に変更されます。2年後、Softimage は製品から削除されます。お客様は Subscription の特典の1つとして、2016年4月30日以降も引き続き、Softimage を使用することができます。

17. Softimage Entertainment Creation Suite（日本のみ）はどうなりますか？

Autodesk Softimage Entertainment Creation Suite の Subscription 契約ユーザーは、Autodesk 3ds Max Entertainment Creation Suite Standard または Autodesk Maya Entertainment Creation Suite Standard のいずれかへ無償で移行することができます。Autodesk Softimage Entertainment Creation Suite の新規販売は行いません。

18. このプログラムについて質問がある場合は、どこに問い合わせれば良いですか？

本プログラムに関するご質問は、オートデスク認定販売パートナーまたはオートデスク営業担当までお問い合わせください。